

視察（研修）報告書

令和 5 年 1 月 23 日

府中市議会議員 様

会派名又は 市民クラブ
議 員 名

日 時	令和5年1月17日（火曜日）
視察（研修）先	熊本県益城町
視察（研修）項目	災害からの復興について
参 加 者	水田豊 土井基司 芝内則明
視察（研修）内容	<p>1、公共施設の復旧、防災体制について 2016年4月熊本地震で震度7を2度も経験したのは益城町だけだった。被害状況は、町全体で被災家屋は全体の98%に及んだ。公共施設は、58施設中48施設が被災した。そのため町民全員が避難者になり、避難所は混乱した。同年12月に、益城町復興計画を策定し復興事業を推進している。</p> <p>2、総合計画について 2018年、益城町復興計画に示された「復興期」「再生期」「発展期」の「再生期」に第6次益城町総合計画第1期基本計画を策定した。総合計画は、「協働のまちづくり」を核としながら、「住む」「定住」につながるようなまちづくりを進めるための復興計画と連動した計画とした。</p>
所 感	<p>熊本地震後の復旧・復興の取り組みは、被災者視点で取り組みが進められている。地域福祉の充実を柱として、被災者支援で培ったノウハウを最大限活用し、地域福祉を充実させることで安心して暮らせるまちづくりを目指していることが理解出来た。</p>

視察（研修）報告書

令和 5 年 1 月 23 日

府中市議会議長 様

会派名又は 市民クラブ
議員 名

日 時	令和5年1月18日（水曜日）
視察（研修）先	長崎県諫早市
視察（研修）項目	入退院支援連携ガイドについて
参 加 者	水田豊 土井基司 芝内則明
視察（研修）内容	1、入退院支援連携ガイドブックについて 作成の動機、作成経過における市民参加、意見の反映 作成後の市民への周知方法、配布枚数、市民からの評価 2、医療機関の協力はどの程度か 3、退院後の患者の行方、リハビリや特養施設の対応
所 感	諫早市地域包括ケア推進課が対応し、説明してくれた。 諫早市における地域包括ケアの推進体制に16名で構成される「諫早市地域包括ケア推進協議会」があり、そのもとに14名で構成する諫早市在宅医療・介護連携推進会議があつて、①医療・介護連携に関する相談支援体制②切れ目のない医療と介護サービスの提供体制③医療・介護関係者の情報共有の支援体制④医療・介護関係者の研修方法、などを協議している。 病院に入院する前、入院後の患者の状態や必要な手当てなどの情報をケアマネージャーと地域包括ケアセンター、病院等で共有し、スムーズに連携出来る最低限の入退院時ルール作りが必要との認識で「入退院支援連携ガイドブック」を作成した。 117か所事業所に送ったアンケートから①ガイドブック

について知っている②コロナ禍で面会が出来ない中、情報提供するうえで非常に役立っている③居宅介護支援事業所一覧も圏域別にまとめてあり、分かりやすいという回答がみられる。

いずれは諫早市を含む広域二次医療圏域への連携も必要との認識も持っておられ、有益な取組みだと感じた。

視察報告書

令和5年 1 月 23 日

府中市議会議長 様

会派名又は 市民クラブ
議 員 名

日 時	令和5年 1月19日 (木曜日)
視 察 先	福岡県北九州市
視察項目	SDG s について
参 加 者	水田豊 土井基司 芝内則明
視察内容	<p>1、SDG s に取り組むことになった経過</p> <p>工業都市である北九州市では、かつて、日本の経済成長に貢献する一方で、大気汚染や水質汚濁等、深刻な公害が発生した。まず最初に「婦人会」が「青空がほしい」というスローガンのもと立ち上がり、その後企業・大学・行政等一丸となって、さまざまな対策を講じた結果、公害を克服した。</p> <p>この経験は、「市民力」という北九州市のかけがえのない財産となり、後の環境国際協力に繋がり、また「国連グローバル500」や「国連地方自治体表彰」を受賞し、国内外から高く評価された。</p> <p>公害克服から次のステージを目指し、「北九州エコタウン」(1997年)、「家庭ごみ有料指定袋制」(1998年)など、市民の理解と協力のもと、「循環型社会づくり」を推進し、また、「低炭素社会づくり」では、「環境モデル都市」に選定(2008年)され、アジアをはじめ、地球規模で貢献すべく挑戦を開始した。</p> <p>その後、「環境未来都市」に選定(2011年)され、「環境面」に加え、「社会面」や「経済面」において、日本の将来の課題に取り組んでいる。この「環境未来都市」等の取り組みが評価され、OECDの「グリーン成長都市」にアジアで初めて選定(2011年)され、「G7エネルギー大臣会合」(2016年)の開催に繋がった。</p> <p>本市の強みである「市民力」や「ものづくりの技術力」などを生かして、「環境モデル都市」や「環境未来都市」として国内外での評価が高い。「環境」や「国際貢献」などの取り組みをさらに推進し、「SDG s 先進都市」を目指している。</p> <p>2、SDG s 達成につながる取り組みと目標</p> <p>具体的な取り組みとして、「環境国際協力と環境国際ビジネスの推進(国際協力からビジネスへ)」、「市民活動の推進(市民力の再構築)」、「ESD(持続可能な開発のための教育)」や「女性活躍推進の取り組み」、「次世代エネルギーの拠点化(次世代エネルギーのビジネス化)」などを進めている。</p> <p>SDG s の17のゴールの多くは、市のこれまでの取り組みと関連しており、北九州市の強みである「市民力」等を活かして、SDG s 達成に取り組む。また、SDG s に取り組むことで「シビックプライド」を醸成</p>

	<p>し、市民のまちへの愛着を高めたい。このようにSDG s 達成に向けた取り組みを推進し、市民生活の質（QOL）及び都市ブランド力の向上を図ることで、世界に成功モデルを発信し、世界全体のSDG s 達成に貢献することを目指す。</p>
所 感	<p>深刻な公害問題といういわば「負の歴史」を、「市民力」で克服し、輝かしい歴史に転換した。またSDG s の取り組みを通じて国際社会に貢献することで、その財産を磨き上げ、シビックプライド醸成に繋げ、まちへの愛着を高めていこうとする構想力は素晴らしいと感じた。</p> <p>府中市においても、SDG s の取り組みが、市民の幸福感や誇り、まちの活性化につながる、<u>府中らしい</u>理屈付けが必要だと感じた。</p>